

## 国に対して

- ☉ 公契約基本法の制定を求める
- ☉ ILO第94号条約の批准を求める

## 地方自治体に対して

- ☉ 公契約条例の制定を求める
- ☉ 公契約基本法制定にむけた国に対する意見書の採択を求める

## ①連合奈良発：「公契約条例制定をめざす奈良県シンポジウム」を開催！

## 連合奈良発：「公契約条例制定をめざす奈良県シンポジウム」を開催！

働くことを軸とする安心社会  
—公契約条例をつくらう—

国や地方自治体（県市区町村）の事業（工事、サービス・物の調達など）を民間企業に委託する際に結ぶ契約を「公契約」といいます。厳しい財政状況を背景に公共サービスの効率化、コストダウンの要請が高まり、国・自治体の契約・発注価格を大幅に引き下げ、受注企業の経営悪化、そこで働く者の賃金や労働条件の低下を招いています。このことが公共サービスの質の低下と価格の低下を招くという悪循環が生じています。昨今、効率化を図りながらも公共サービスの質を低下させないために、2009年千葉県野田市での日本初の制定を機に、公契約条例を制定する機運が全国高まっており、奈良県でも制定にむけた検討・準備がはじまっています。

## シンポジウムの概要

- ◆主催者挨拶 小山淳二 連合奈良会長
- ◆来賓挨拶 荒井正吾 奈良県知事
- ◆第1部 基調講演  
「公契約条例ななぜ必要？野田市の現状を踏まえて」  
根本 崇 千葉県野田市長
- ◆第2部 パネルディスカッション  
パネラー 根本 崇 千葉県野田市長  
田中敏彦 奈良県会計局長  
古川友則 連合奈良副会長  
藤川伸治 公務労協副事務局長  
コーディネーター 澤井 勝 奈良女子大学名誉教授

連合奈良、奈良県公務労協  
主催による「公契約条例制定を  
めざす奈良県シンポジウム」

2012年6月30日、奈良ホテルにおいて、標記シンポジウムを開催し、行政関係者、各級議員、NPO、市民、連合奈良組合員など、約180名が参加しました。

はじめに、主催者を代表して連合奈良・小山淳二会長があいさつにたち、「連合は『働くこと軸とする安心社会』の構築に向けた取り組みの一つとして公契約条例の制定を求めてきた」「①自治体ワーキングプアをつくらない②地域経済の活性化のためにも後継者が育つような賃金水準を維持すべき③ILO94号条約『市民の税金を基とする公的事业で利益を得る企業は、労働者に人間らしい労働条件を保障すべきであり、発注者である国・自治体・公的企業はそれを確保する責任を負っている』を遵守すべきである」と大事にすべき視点を提起しました。

続いて、来賓として、荒井正吾・奈良県知事が、「公契約条例を奈良県に制定していくために他府県の先進事例を参考にしながら検討している段階だ」と挨拶されました。

小山淳二  
連合奈良会長荒井正吾  
奈良県知事

## 第1部 基調講演

第1部では、2009年9月、全国に先駆けて公契約条例を制定した千葉県野田市の根本崇市長から、「公契約条例なぜ必要？野田市の現状を踏まえて」と題して講演をいただきました。

根本市長は、「限られた財源を有効に使って市民サービスを向上させるための行財政改革は不断の努力が求められる課題」だとしつつ、「財政再建の側面が強く出過ぎ、行政運営が本来備えるべき人への思いやり、温かみ、優しさを疎かにしすぎ」「無駄を省くことは必要だが無機質な人間味のないものであってはならない」という基本的な考え方を示した上で、「市民が本当に必要とする行政サービスの質を落とさない工夫することが行政運営の一番のポイントだ」と述べました。

そして、野田市の公契約条例の内容や課題について、条例を具体的に示しながら説明されました。「制定後は、経費の増にはあまりならず、職員負担についても担当職員1名増員のみで対応してきた」「最近では、他5市が公契約条例を制定されたが、条例比較等も行いながら、市民レベルで納得できる改正を今後も行っていきたいと」語られました。



根本崇 千葉県野田市長

## 第2部 パネルディスカッション



会場の様子

第2部では、パネルディスカッションを行いました。はじめに、コーディネーターの奈良女子大学名誉教授・澤井勝さんが、公契約の基本的な考え方や現状について提起され、「なぜ公契約条例が必要なのか」を共に、考えるという本シンポジウムの意義について提起されました。その後、パネラーが、簡単な自己紹介とそれぞれの立場における取り組みの報告を行いました（各パネラー・コーディネーターの発言要旨は別紙参照）。

会場からは労働者の生活を守る公契約条例の役割、安全性を高める公契約条例の役割についてや奈良県の条例制定に向けた検討項目についてなどの質問が出され、活発に質疑応答がされました。

最後に、「公契約条例制定にむけたアピール」が提案され、参加者全体で確認し有意義にシンポジウムを終わりました。

<情報提供 by 連合奈良・竹平均事務局長>

連合奈良のオリジナルキャラクター  
公契約をなんとかせんとくん！



連合中小労働対策局では、構成組織や地方連合会の公契約運動に関する様々な活動や情報を募集しております。  
[jfuc-chusho@sv.rengo-net.or.jp](mailto:jfuc-chusho@sv.rengo-net.or.jp) までお寄せ願います。

